

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

開講科目名 / Course	まち育てを楽しむ / Enjoy Community Development		
時間割コード / Course Code	R1001129_G1		
開講所属 / Course Offered by	共通 /		
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 第3クォーター / 3Q		
曜限 / Day, Period	他 / Otr		
開講区分 / Semester offered	後期 / the latter term		
単位数 / Credits	2.0		
学年 / Year	1,2,3,4		
主担当教員 / Main Instructor	和田 真治		
授業形態 / Lecture Form	講義・演習		
教室 / Classroom	岸和田サテライト / 岸和田サテライト		
開講形態 / Course Format			
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー / Diploma Policy	DP値 / DP Point
	共通	幅広い教養と分野横断的な学力	4
		課題解決力と自己学修能力	2
		協働性とコミュニケーション能力	2
		地域への関心と国際的視点	2
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	足立 基浩（経済学部（教員））、岸上 光克 / KISHIGAMI Mitsuyoshi（経済学部（教員））、和田 真治（大学共通）、佐久間 康富（システム工学部（教員））、松田 敏幸（観光学部（教員））		
授業の概要・ねらい / Course Aims	この講座では、地域の魅力を引き出し磨き、自分たちのまちを主体的に育てる方法を学び、地域の特性を活かしたまち育てのプランを考え、実際に行動に移すことを目指します。産学官の連携や市民の参加を大切にしながら、地域の課題を発見し解決するための実践的なアプローチを身につけます。授業では、他のエリアの取り組み実績・事例を参考に、観光資源を活用したり、特産品を開発したり、商店街を再生したり、空き家を有効活用したりと、さまざまな切り口によるまちづくり、まち育てを考えます。各回の授業を通じて、地域の可能性を見つけ出し、グループで協力して具体的なアイデアを形にしていきます。最終的には、これまでの学びを活かしてアクションプランを作成し、地域活性化に向けた一歩を踏み出します。		
到達目標 / Course Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生が地域資源を活かしてまちを育て、活性化する意義や目的を説明できる ・授業で身に付けた手法を応用し、グループで協力して、まちを育てる具体的なプランを作成できる。 		
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	【学生のみ】毎回の各講師先生からの課題 40%、最終アクションプランとレポート 60%で総合的に 評価いたします。 社会人受講生の方は、課題の提出、評価の必要はございません。		
教科書 / Textbook	特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル（データ）を配布します。		
参考書・参考文献 / Reference Book	授業中に案内します。		
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	・授業テーマに関連する社会的な出来事に関心を持ち、情報収集、理解に努めてください。		
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	<ul style="list-style-type: none"> ・【特に学生】Moodleを使用しますので、PCの持参を推奨いたします。 ・配当された授業を受講し、積極的に参加すること。 ・グループワークでは、各メンバーが積極的な発言ができるように互いに配慮すること。 		
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	各回の講師先生の開講している授業科目。		
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	事前・事後学習については、その都度連絡する。		
その他連絡事項 / Other messages	記載事項無し		

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

授業理解を深める方法 /How to deepen your understanding of classes	PBL学習 普遍的な正答や定型的なモデルが存在しない題材に対し、学生自らが合理的な解を導き出す学習 学生自らが具体的なテーマや対象を設定する学習 グループワークをともなう学習
オフィスアワー /Office Hours	・講義の休憩時間や終了後、各回の講師が対応する。 ・北4号館2階 和田研究室 swada61@wakayama-u.ac.jp
科目ナンバリング / Course Numbering	C80011J1011131h1
実務経験 / Practical Experience	無

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) / Time (date and time)	主題と位置付け / Subjects and position in the whole course	学習方法と内容 / Methods and contents	備考(担当) / Notes
第1回(12/6)13時~17時	駅前からまちづくりを考える	アントレプレナーシップの重要性を踏まえ、なんばひろばなどのまちづくりの実例をご紹介します、岸和田での官民連携・市民参加のまちづくりの在り方を考えます。	アントレプレナーシップ デザインセンター 和田 真治教授
第2回(12/20)13時~17時	空き家を活かしたまちづくりを考える	空き家の利活用事例を紹介し、住宅再生プロジェクトの提案と地域住民の参加促進方法を考えます。	システム工学部 環境デザインメジャー 佐久間 康富教授
第3回(1/10)13時~17時	まちの魅力度アップを考える	観光地の事例から企画とPR戦略を学び、観光資源の活用や景観改善を通じて岸和田の魅力度向上策を考えます。	専門職大学院 松田 敏幸特任教授
第4回(1/24)13時~17時	田舎における商品開発から地域づくりを考える	農山漁村地域の魅力ある商品開発(特産品や観光メニュー)について学び、それらが単なる商品開発ではなく、その取り組みを循環型の地域づくりにつなげる仕組みについて考えます。	経済学部 岸上 光克教授
第6回(1/31)13時~17時	まち育ての現場を歩く	フィールドワーク 講師が南海電鉄勤務時に関わった、南海なんば駅前広場のまち育ての現場を歩きながら、その背景やプロセスを学びます。岸和田に戻り、学んだことを共有します。	アントレプレナーシップ デザインセンター 和田 真治教授
第5回(2/7)13時~17時	商店街の再生からまちおこしを考える アクションプランの作成と総括	ローカルファーストの経済学の視点などを参考に、商店街の現状を分析し、商店主との協力体制や他地域の成功事例を基に地域に適した取り組みを考えます。この講座のまとめとして、これまでの学びを基に、具体的なアクションプランを策定します。	アントレプレナーシップ デザインセンター 和田 真治教授 経済学部 足立基浩教授